

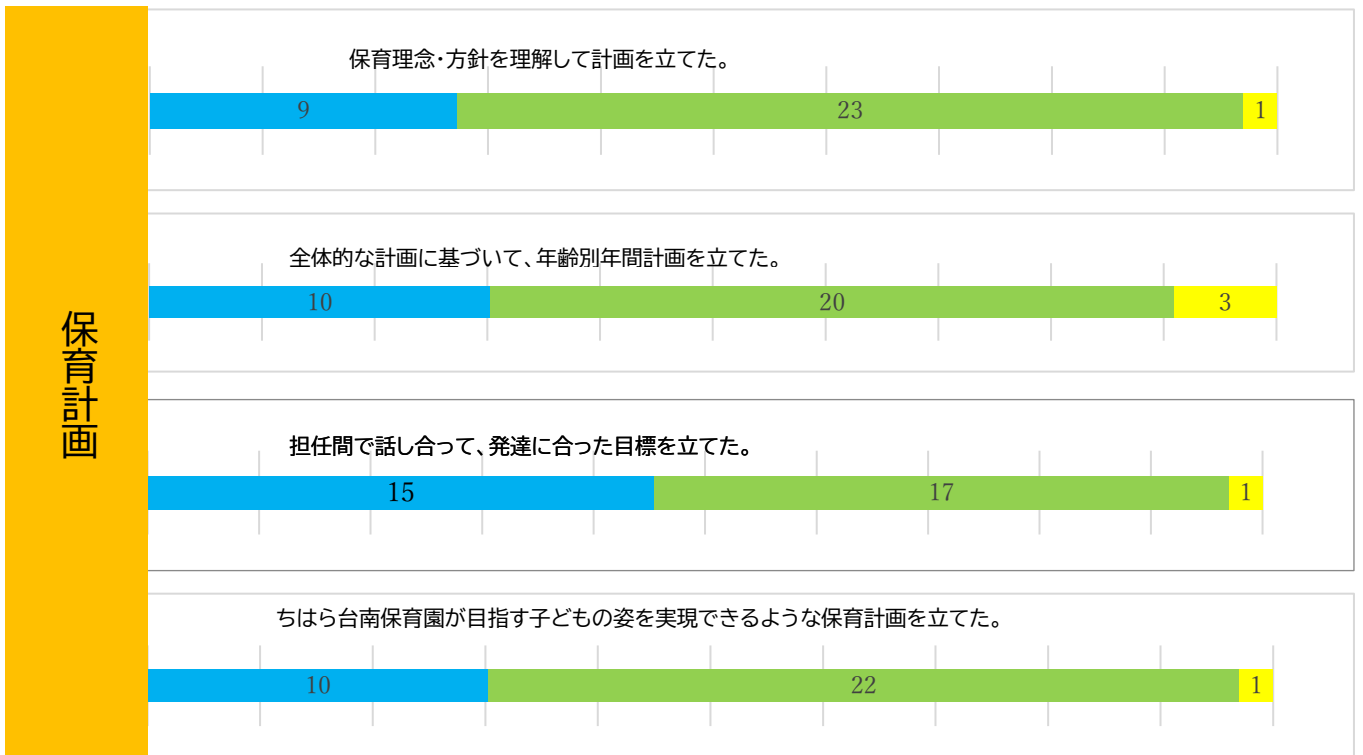
# 令和 7 年度 ちはら台南保育園自己評価

保育所保育指針では、『保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価を踏まえて、当該保育所の保育の内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない。』事が記されています。このことに基づき、ちはら台南保育園では毎年自己評価を実施しております。評価結果を踏まえ、今後もより良い保育を提供していけるよう努力していきます。



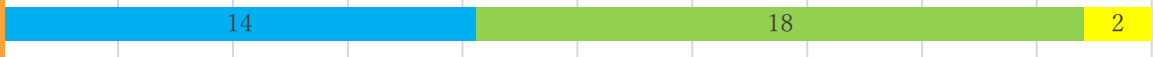
## 保育士の自己評価

- A- よくできた
- B- できた
- C- 一部改善が必要
- D- 改善しなければならない



保育実践

保育理念を理解し、日々の保育で実践しようと努めている。



日々の振り返りの中で気づきを意識して保育に取り組んでいる。



園の目標を踏まえ、目指す子どもの姿を意識して保育に取り組んでいる。



全体的な計画を意識して保育に取り組んでいる。



環境作り

子どもの発達を促すための環境作りを心掛けている。



常に遊具・玩具・教材の安全確認を行い、定期的に洗浄・消毒をしている。



子どもの姿を見ながら、臨機応変・計画的に環境作りを行っている。



保育室の整理整頓に努め、いつも気持ちの良い保育室作りを心掛けている。



子どもへの関わり

ひとり一人の子どもと丁寧に关わるよう心掛けている。



ひとり一人の思いを受け止め、その思いをできるだけ実現させようと努めている。



ひとり一人の子どもへの育ちのねらいと課題を明確にし、見通しを持って関わっている。



ひとり一人の子どもを同じ目線で聴き、丁寧に关わっている。



保護者対応

保護者に対して、丁寧な言葉遣いと気持ちの良い対応を心掛けている。



送迎時に子どもの姿を必ず伝えている。



子どもの成長や課題を保護者に伝え、連絡をとっている。



来園する見学者、訪問者に自分から気持ちの良い挨拶をしている。



## 組織の一員として

提出物などの期限を守っている。



組織の一員として、自分ができることを心がけている。



自分のクラスだけでなく、他のクラスや園全体のことも気を配



必要な報告・連絡・相談を行っている。



### 保育園全体評価

- 日々の振り返りを丁寧に行えるようになったことで、一人ひとりの子どもの発達についての意識が高まった。その反面、指針や理念に結び付けた保育から少し離れてしまう傾向があったので、その都度意識に入れていくよう、会議で修正をかけた。
- 保育士の評価内容から、子ども一人ひとりの発達に向き合えたが、そこから見通しを持ち発達を促す環境に繋げることに課題を感じている。振り返りの内容を工夫していく。
- 保護者支援においては、児の成長を促す伴走者となれるよう心掛けている。家庭環境や保護者の子育て感が時代とともに変わってきている事を強く感じている。これにより、子どもの課題を伝えていくことに難しさを感じる事もある。
- 保護者アンケート、日々の会話において保護者の方々に感謝の言葉をいただくことが保育者のおおきな糧になっている。また、3歳以降の在園を希望する声が毎年あることにも感謝したい。

### 今後の課題

1. 保育所保指針・理念に基づいた、保育を行う。
2. 園庭の整備
3. 保護者とのコミュニケーションの再構築と、対応方法